

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使用量 (製品g/a)	適 用 土 壤	適 用 地 帯	使用上の注意
Ⅵ 畦 畔 雑 草	DPA・MCP・ DCMU水和	茎葉・ 土壌処理	雑草発生前 と 盛 期	100	砂 壤 土～ 埴 土	全 域	1.ノリ面散布さける 2.流入のおそれがあるので充分注意する 3.稲体にかからないようにする
	D C M U 水和	茎葉・ 土壌処理	雑草発生前 期	20～ 30	全 土 壤	暖 地	1.ノリ面散布はさける 2.流入のおそれがあるので充分注意 3.稲体にかからないようにする
	D P A 水 溶	茎葉・ 土壌処理	雑草発生前 と 盛 期 (畦 B)	50～100	全 土 壤	温暖地以西	1.ノリ面散布さける 2.流入の恐れがあるので十分考慮する 3.稲体にかからないように注意 4.イネ科雑草を主対象とする
	DPA・ DCMU水和	土 壤 処 理	田 植 前	100～120	埴 土 ～ 埴 土	寒冷地以西	1.流入のおそれがあるので十分考慮する
Ⅶ 休 耕 田	ATA・ DCMU水和	茎葉・ 土壌処理	雑草生育初期 (4～7 日)	40～ 60	全 土 壤	全 域	1.隣接圃場への飛散流入について 厳重に注意する
	PCP・MCP・ DCBN粒	土 壤 処 理	代かき後雑 草発生前～ 始期 (4～7月)	600～900	全 土 壤	全 域	隣接圃場への流入 については厳重に 注意する

新 登 録 除 草 剤 一 覧

農 林 省 農 政 局 植 物 防 疫 課
昭和46年11月1日～12月31日

分類	種 類 名	商 品 名	有効成分の種類・含有率	剤型	適用作物名 適 用 場 所	適用雑草木名	使用時期	10アール当 り 使用量	使用方法	登録会社
非 ホ ル モ ン 型 除 草 剤	塩素酸塩 除草剤	クロレートS	塩素酸 ナトリウム50.0% 重炭酸ナトリウム30.0%	粒剤	造 林 地 ・ 開 墾 予 定 地	ススキ、イタドリ、フキ、スダヒエ、ヨモギ、シダ、スギナ、メヒシバ、ドクダミ、スズメノテッポウ等	対象雑草がある程度成長した時期 (4月下旬～6月下旬)	10～15kg	茎葉散布	昭和電工

分類	種類名	商品名	有効成分の種類含有率	剤型	適用作物名 適用場所	適用雑 草名	使用時期	10アール当り 使用量	使用方法	登録会社
非 ホ ル モ ン 型 除 草 剤	塩素酸塩 除草剤	クロレートS	塩素酸ナトリウム50.0% 重炭酸ナトリウム30.0%	粒剤	造林地・開墾予定地	アジサイ、リリヨブ、ホウ、ウツギ、ミズギ、カエデ、シデ、クサギ、コナツコ等	萌芽後展葉してある程度活力が旺盛になりはじめた時期（5月下旬～6月下旬）	15～20Kg	茎葉散布	昭和電工
					従地帯	クマザサ、ミヤコザサ、ネマザサ等	新葉が展葉した時期	10～15Kg		
混 合 剤	モリネート・シメトリン除草剤	マメット粒剤	S-エチル・ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート 6% 2-メチルチオ-4,6-ビス（エチルアミノ）-S-トリアジン 1.5%	粒剤	移植水稻 北海道を除く 全地域の早期 普通期栽培地 帯、砂壤土～ 粘土（減水 深2cm/日以下）	ノビエその他水田1年生雑草 普通期栽培地及びマツバイ	移植後7～12日（ノビエ2葉期まで）	3～4Kg	湛水散布	八州化学工業 三笠化学工業

植調協会だより

◎ 会議開催日程

- 昭和46年度ミカン関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会

期日 昭和47年1月28日（金曜日）

場所 日本都市センター

- 昭和46年度リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会

期日 昭和47年1月27日（木曜日）

場所 農業総合研究所会議室

- 昭和46年度落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会

期日 昭和47年1月27日（木曜日）

場所 農業総合研究所会議室

- 昭和46年度林地関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会

日時 昭和47年2月10日（土曜日）

場所 当協会会議室

編集後記

今年は何年、……十二支も一順してまたスタートのやりなおし。

終戦当時のわが国の経済は、全く困乱状態であったが、当時では植物のケミカルコントロールなど、一般に普及されるとはとても考えられなかった。除草剤がわが国に導入されたのは、2昔前であるが当時の農業関係者には今日のようには普及されるとは予想できなかったことであろうと思う。

さて、植物調節剤の開発関係者は、この辺で過去をふりかえり、心機一転して、新たな研究

に取り組まなければならぬまい。

財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都港区芝西久保桜川町26番地

東話 東京(03)502-4188(代)

昭和47年1月発行

第5巻第10号

¥70（送料35）

編集人 日本植物調節剤研究協会常務理事 吉沢長人
発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都港区芝愛宕町1-3 全国農村教育協会内
発行所 植調編集印刷事務所

電話 東京(03)436-3388番